

「産学官連携リスクマネジメントモデル事業」
(利益相反マネジメント)
委託業務成果報告書

平成 28 年4月15日

国立大学法人 滋賀医科大学

【応募機関名称：滋賀医科大学】

本報告書は、文部科学省の平成27年度産学官連携支援事業委託事業による委託業務として、国立大学法人滋賀医科大学学長塩田浩平（受託者の名称）が実施した平成27年度産学官連携支援事業委託事業「産学官連携リスクマネジメントモデル事業（利益相反マネジメント）」の成果を取りまとめたものです。

目次

1. 委託事業実施概要

- 1) 機関名称、基本情報、責任者等
- 2) 平成27年度委託費額（契約額）

2. 産学官連携リスクマネジメントモデル事業への取組

- ・産学官連携リスクマネジメントモデル事業の概要
- ・本委託事業の位置づけ

3. 委託事業実施以前の滋賀医科大学における利益相反マネジメントの取組

- ・滋賀医科大学における利益相反マネジメントの取組
- ・高血圧治療薬（ディオバン）の問題の影響

4. 本委託事業採択を受けての利益相反マネジメントの取組

- ・医学系単科大学における利益相反マネジメント
- ・本委託事業採択にあたっての条件
- ・平成27年度業務計画

5. 本委託事業における平成27年度業務計画の重点テーマと成果の概要

- ・平成27年度重点テーマ
- ・平成27年度重点テーマの成果概要

6. まとめ及び平成28年度の展開

- ・本委託事業終了後の展開
- ・滋賀医科大学自主事業としての産学官連携リスクマネジメント

成果物

- ・組織の利益相反ポリシー
- ・CT-Portal 利益相反システム
- ・利益相反事例集

【応募機関名称：滋賀医科大学】

【応募機関名称：滋賀医科大学】

「産学官連携リスクマネジメントモデル事業」（利益相反マネジメント）
完了報告書

1. 事業実施概要

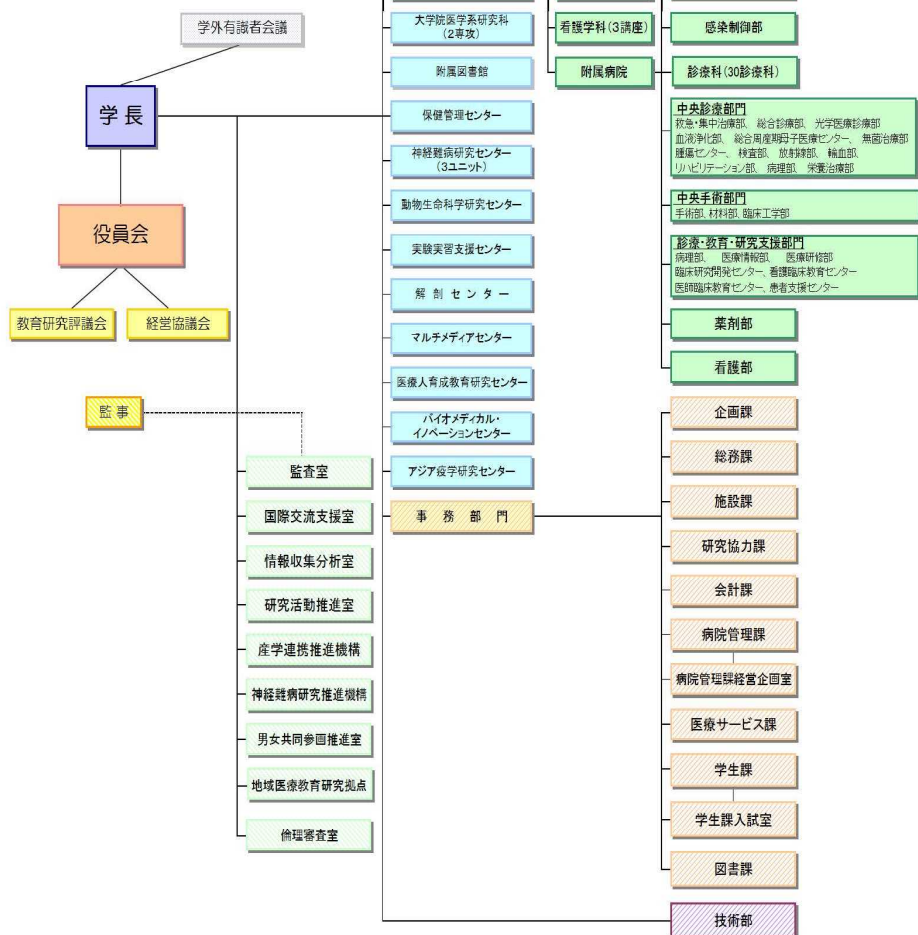
1) 機関名称、責任者等

- ・ 機 関 名 称 : 滋賀医科大学
- ・ 機関の長(職・氏名): 学長 塩田浩平

- ・ 基本情報
職員数：1332名（うち、研究者数372名）
組織構成は下記組織図のとおり

国立大学法人 滋賀医科大学 組織図

(平成28年04月01日)



【応募機関名称：滋賀医科大学】

<p>・実施責任者</p> <p>所属： バイオメディカル・イノベーションセンター</p> <p>役職・氏名： 特任教授 松浦昌宏</p> <p>電話番号：077-548-2896</p> <p>E-mail： m18matsu@belle.shiga-med.ac.jp</p> <p>・報告書作成責任者</p> <p>所属： バイオメディカル・イノベーションセンター</p> <p>役職・氏名： 特任教授 小笠原敦</p> <p>電話番号：077-548-2896</p> <p>E-mail： ogasawa@belle.shiga-med.ac.jp</p>
--

2) 平成27年度委託費額（契約額）

大項目	中項目	委託費額
人件費	計	4,604,640 円
	業務担当職員	4,020,000 円
	社会保険料事業主負担分	584,640 円
業務実施費	計	6,282,851 円
	消耗品費	46,800 円
	国内旅費	552,880 円
	諸謝金	60,000 円
	印刷製本費	250,000 円
	雑役務費	5,000,000 円
	消費税相当額	373,171 円
一般管理費	上記経費 × 10%	1,088,749 円
合計		11,976,240 円

2. 産学官連携リスクマネジメントモデル事業への取組

産学官連携リスクマネジメントモデル事業の公募要領には、『産学官連携活動は活発化・多様化するとともに、グローバル化が進展してきており、その中で、大学等が対処すべき多様なリスクが生じつつある。大学等が社会とのつながりを求めていく中で、大学等のインテグリティ（Integrity、「社会的信頼」、「尊厳」等の意味）を維持・確立し、研究者の名誉・信頼を組織的に守ることは、産学官連携活動を加速するために必要不可欠なことである。具体的には産学官連携の拡大によって生み出された経営資源の一部をリスクマネジメントに充てることで社会からの信頼と期待がより高まり、その結果としての産学官連携活動がさらに活発化するというポジティブなスパイラルを生み出さなければならない。そのような環境下において、我が国における産学官連携リスクマネジメントに対する各大学等の取組は、大学等の産学連携本部や、知的財産本部の整備とともに、一定程度進展してきているものの、課題も多く存在している。産学官連携活動の推進に伴うリスクマネジメントは、産学官連携活動を行っている一部の大学等のみが取り組めばよいことではなく、大学等の規模等に関わらず社会との連携を求めるすべての大学等が取り組むことが必要となる。今後、産学官連携活動を推進していく各大学等が、産学官連携リスクマネジメントを大学経営上の重要な要素と位置づけて積極的に取り組み、各大学等の特徴に沿った多様なマネジメント体制・システムが構築されることを通じて、産学官連携活動が活性化していくことが期待される。』と、本モデル事業の背景が記載されている。

また、産業連携・地域支援部会大学等における産学官連携リスクマネジメント検討委員会（第4回）配付資料2)の資料3 おいては、本事業期間（2ヶ年）及びそれ以降における事業構想の全体像（下図）が示されている。滋賀医科大学は、本事業の利益相反マネジメントモデル事業実施機関として採択された。

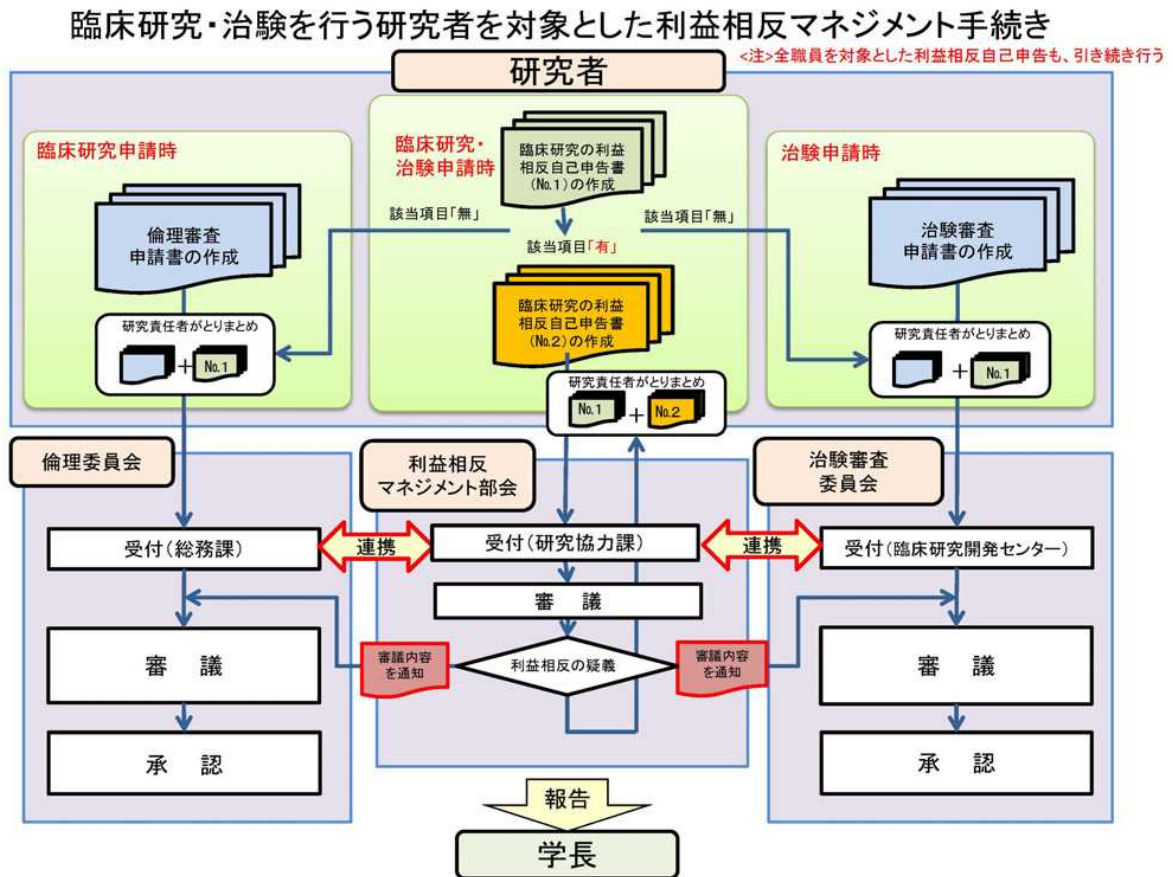


3. 本事業実施以前の滋賀医科大学における利益相反マネジメントの取組

本学においては、「厚生労働科学研究における利益相反（Conflict of Interest：COI）の管理に関する指針」（平成20年3月31日科発第0331001号厚生科学課長決定）と並行して、平成20年3月27日に本学役員会にて国立大学法人滋賀医科大学利益相反ポリシーを承認し、同年9月25日に国立大学法人滋賀医科大学利益相反マネジメント規定を制定して、臨床研究を含む産学官連携活動を適正かつ効率的に推進してきた。

しかしながら、平成25年から平成26年にかけて高血圧治療薬（ディオバン）の問題が発覚し、学内調査を進めて行く過程において、組織的な取組みの甘さや体制の不十分さが明らかとなり、再度、全学をあげてCOI管理システム構築に取り組んでいるところである。

従来、全職教員を対象とした利益相反自己申告書の提出を年1回義務付けていたが、ディオバン問題の反省を踏まえて、平成26年3月27日に本学規程を改正し、年1回の自己申告に加えて、臨床研究・治験を実施する場合は、都度、利益相反マネジメント部会に申告書を提出することとし、倫理委員会や治験審査委員会と連携して、マネジメントを強化して運用してきた（下図）。



組織としては、利益相反マネジメント部会は知的財産本部の下に置いている。構成員は、(1)理事（医療等担当）、(2)知的財産本部長、(3)知的財産本部の職員、(4)倫理委員会委員の職員、(5)医学部附属病院治験審査委員会委員、(6)総務課長及び研究協力課長、(7)学外の有識者、(8)委員長が必要と認めた者としている。利益相反マネジメント部会の事務担当は研究協力課である。

事業実施以前の運営実績としては、年1回の全職員利益相反自己申告書の回収率は平成25年度94.6%であった。そのうち、一定基準以上の報酬を得ていたものは5件であり、内容を

検討した結果、改善等の指導は必要なかった。この内容については、本学の役員会（学長含む）に報告され、適正に運用できている。

また、臨床研究・治験の実施頻度は平均月25件（年間約300件）程度あり、都度、利益相反自己申告書の提出を義務付けている。そのうち、利益相反マネジメント部会で審議が必要とされるものは、月2件程度である。審議が必要なもののうち、約10%で改善が必要と判断された。審議の結果、改善の必要がある場合は、学長に報告し、必要な措置をとっている。

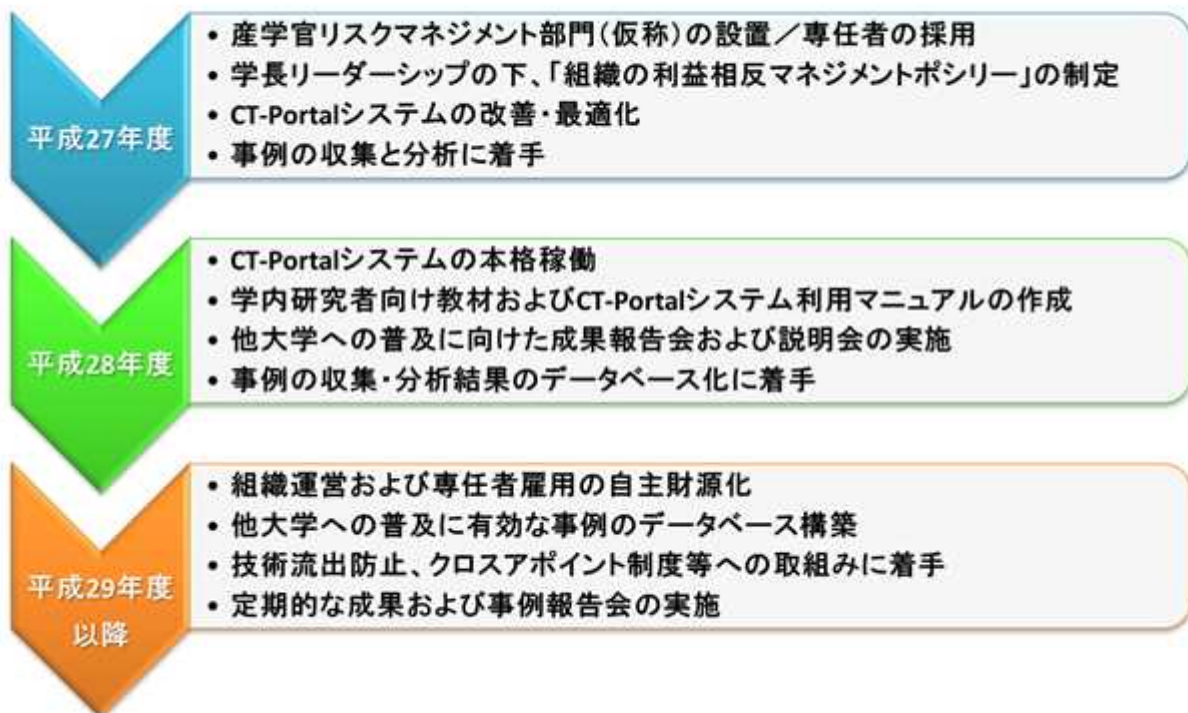
4. 本委託事業採択を受けての利益相反マネジメントの取組

滋賀医科大学では平成27年度に文部科学省の産学官連携リスクマネジメントモデル事業（利益相反マネジメント）に採択を受け、医学系単科大学における利益相反マネジメントの制度の確立（個人の利益相反、組織の利益相反）、および利益相反申告のシステム化を中心に事業計画を立案し、実施を行った。

特に医学系単科大学における産学官連携マネジメントにおいて非常に大きなウェイトを占める、人を対象とした臨床試験（Clinical research）および臨床治験（Clinical trials）のフレームにおける利益相反マネジメントシステム構築（CT-Portalシステムへの利益相反マネジメントの導入）と、より広く人を対象としない生命科学研究や基礎医学研究を含む医学研究全体への利益相反マネジメントシステムの展開、そして大学が実施主体となる組織的利益相反（大学の出資、役員派遣、教育連携等）に向けての課題という視点で実施計画を策定した。

平成27年度からの全体事業実施計画のフローは下記のとおりである。

○スケジュールおよび事業実施内容



【応募機関名称：滋賀医科大学】

なお、本委託事業に採択されるにあたって、下記の条件が付記された。

- ・事業実施に当たっては、公募要領に定められている「必須条件」(公募要領p3～)が、全て確実に達成されるよう業務計画を定め計画的に事業を遂行されたい。
- ・地方の医学系大学という貴大学の特性とこれまでの経験・教訓に基づき、人材育成・配置の最適化も含めて中小規模大学におけるコンパクトで実効的なモデル構築をすること。
- ・利益相反の現象ではなく、増加を前提に、かつ大学からの一方的なマネジメントではなく、不服への対処を含む、大学と研究者の双方向のマネジメントモデルを構築すること。
- ・CT-Portalについて、本事業目的に沿った内容となれば、他大学等への普及が期待できる可能性があることから、現状の金額等の数値のみによる管理だけでなく、事例の蓄積や取引業者別のデータ整理等を可能にし、大学等のルールに基づいたシステム稼働ができるものとする(本システムを通じて、過去の事件を未然に防げたことを実証すること)。その際、他大学での導入を念頭に、汎用性の高いシステムとすること。ただし、電子システムに関して翻字の経費により支出できるのは、全国の大学等に普及することを目的に既存の電子システムを改良、最適化に必要な経費のみであることに留意すること。(詳細は、公募要領別紙2参照)。またCT-Portalの機能については、課題、その解決手法、システム上の対応などについて、全体像が俯瞰できるシステム構成図を提示し、利益相反マネジメントにいかにより具体的に寄与できるかを明示すること。

以上を前提に平成27年度業務計画を策定した。

平成27年度計画

業務項目	実 施 日 程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①利益相反マネジメント体制の構築												
a. 産学官連携リスクマネジメント部門の新設								←	→			
b. 部門の専任者の採用								△	←	→		
c. 組織の利益相反マネジメントポリシーの制定と適正な運用								←	→			
②利益相反管理システムの改良・構築								←	→			
③利益相反に関わる事例の収集・解析とデータベース化								←	→			

【応募機関名称：滋賀医科大学】

平成27年度業務計画と平成27年度達成実績は下記のとおりである。

(●平成27年度業務計画書記載項目、○平成27年度達成実績)

①利益相反マネジメント体制の構築

a. 産学官連携リスクマネジメント部門（仮称）の新設

- 学長のリーダーシップの下、産学官連携機構の中に、利益相反マネジメントを含む「産学官連携リスクマネジメント部門（仮称）」を新設することで、医療系単科大学として最適なマネジメントシステムを構築する。
- この部門の中に、組織利益相反委員会（仮称：外部有識者10名程度予定）、利益相反マネジメント部会（9名）、医学研究に特有な治験審査委員会と倫理委員会を、包括改変予定の倫理審査部（27名程度）をコンパクトに集約し、実効的なモデルを構築し、運営する。
- 同機構の中の産学官連携活動推進部門や附属病院に属する臨床研究開発センターとも連携し、大学と研究者の両者が納得できる双方向のリスクマネジメントモデルを構築する。

- 学長のリーダーシップの下、産学官連携リスクマネジメント部門（仮称）の検討を行い、マネジメント体制について、学内執行部とのコンセンサスを得た。
- 学長直下の組織体である産学官連携推進機構の産学官連携活動推進部門および附属病院に属する臨床研究開発センターと連携し、大学と研究者の両者が納得できる双方向の研究資金管理システムであるCT-Portalの構築、改良を行った。

b. 部門の専任者の採用

- 産学官連携リスクマネジメント部門（仮称）に、この分野で経験と知識のある人材1名を特任教員（特任教授あるいは准教授）として確保する。
- この特任教員は上述の各委員会と連携して、大学全体の産学官連携リスクマネジメント体制整備を行う。

- 平成27年12月1日付で、経済産業省／独立行政法人産業技術総合研究所で国際産学官連携拠点つくばイノベーションアリーナの制度設計、独立行政法人理化学研究所で野依理事長直轄産学官連携事業、社会地創生事業の制度設計を行った経験者（前文部科学省 科学・技術学術政策研究所科学技術動向研究センター長）を特任教授として採用し、産学官連携リスクマネジメント部門の専任者として配置した。
- この特任教員が中心となって、各委員会と連携し、大学全体の産学官連携リスクマネジメント体制の検討を行った。

c. 組織の利益相反マネジメントポリシーの制定と適正な運用

- 上記の特任教員と組織利益相反委員会メンバーが中心となって、本学の「組織の利益相反マネジメントポリシー」（案）を制定する。
- 必要に応じて組織利益相反委員会を開催し、「組織の利益相反マネジメントポリシー」（案）に従って適正に運用する。

- 平成28年1月8日付で、本学の「組織の利益相反マネジメントポリシー」（案）を策定した。
- 「組織利益相反マネジメントポリシー」（案）の下、規則・規程の検討を開始した。

②利益相反管理システムの改良・構築

- 現在構築中の CT-Portal システムを改良し、金銭的な利益相反に反するアラート発出に加えて、企業別のデータ管理を含めたシステムへの改良を行う。
- CT-Portal システムを導入する際に、利用方法の説明に併せて、研究者・教職員に対する利益相反及び産学官連携に関するリスクマネジメントモデルの必要性を啓蒙・啓発する。
- 過去の事例を用いて、改良したシステムの妥当性を検証する。
- 他大学への普及を視野に入れて、利益相反管理システムが独立したパッケージとして利用できるようなシステムとして構築する。

- 研究資金管理システムである CT-Portal を改良した。研究者自身が研究資金の流れを年次集計の段階だけでなく、経時的にも正確に把握できるようにし、利益相反状態の危険性に対するアラームを発するシステムの構築を行うことを主目的とし、規制的な制度設計にならないように配慮した。
- 研究者個人の利益相反についてはアラートを発出するようにし、注意喚起および意識づけを行った。
- CT-Portal システムの導入により金銭的な利益相反に関しては、チェックにかかる負担の大幅な軽減が図られた。
- 金額等の数値のみによる管理だけでなく、事例の蓄積や取引業者別のデータ整理等を可能にした。
- 研究者の自己申告だけでは不十分だった裏付けが、CT-Portal システムを管理者側から利用することで、適切な指導を効率的にできるようになった。
- また研究者自身の負担も、研究資金システムとの連携、チェックリストの拡大により大幅な軽減が図られた。

③利益相反に関する事例の収集・解析とデータベース化

- 前述の特任教員が主体となって、利益相反に関わる学内外事例の収集と解析を実施し、データベース化する。
- データベースは類似事例の判断材料や他大学への普及の際のツールとして活用する。
- 利益相反に関する外部有識者（大学および企業）との事例に関する意見・情報交換等を実施する。

- 事例収集・分析結果のデータベース化に着手し、収集した事例の分類、キーワード付けを実施した。
- 組織としての利益相反にかかる事例も収集を開始した。
- 利益相反に関する外部有識者(大学および企業)との意見・情報交換等を実施した。
 - ・東京医科歯科大学、東京大学、東北大学、滋賀医科大学の4大学による意見交換の実施。
 - ・東京医科歯科大学飯田教授による講演会、意見交換の実施。
 - ・長崎大学河合コーディネーターによる講演会、意見交換の実施。

5. 本事業における平成27年度業務計画の重点テーマと成果の概要

本事業における平成27年度業務計画の重点テーマは、下記4点とした。

- (1) 産学官リスクマネジメント部門（仮称）の設置／専任者の採用
- (2) 学長リーダーシップの下、「組織の利益相反マネジメントポリシー」の制定
- (3) CT-Portalシステムの改善・最適化
- (4) 事例の収集と分析に着手

(1) については本学に産学官連携リスクマネジメントの専任者がいないため、産学官連携の専門家の選考・採用を行った。平成27年12月1日付で、前文部科学省科学技術・学術政策研究所化学技術動向センター長を採用した。

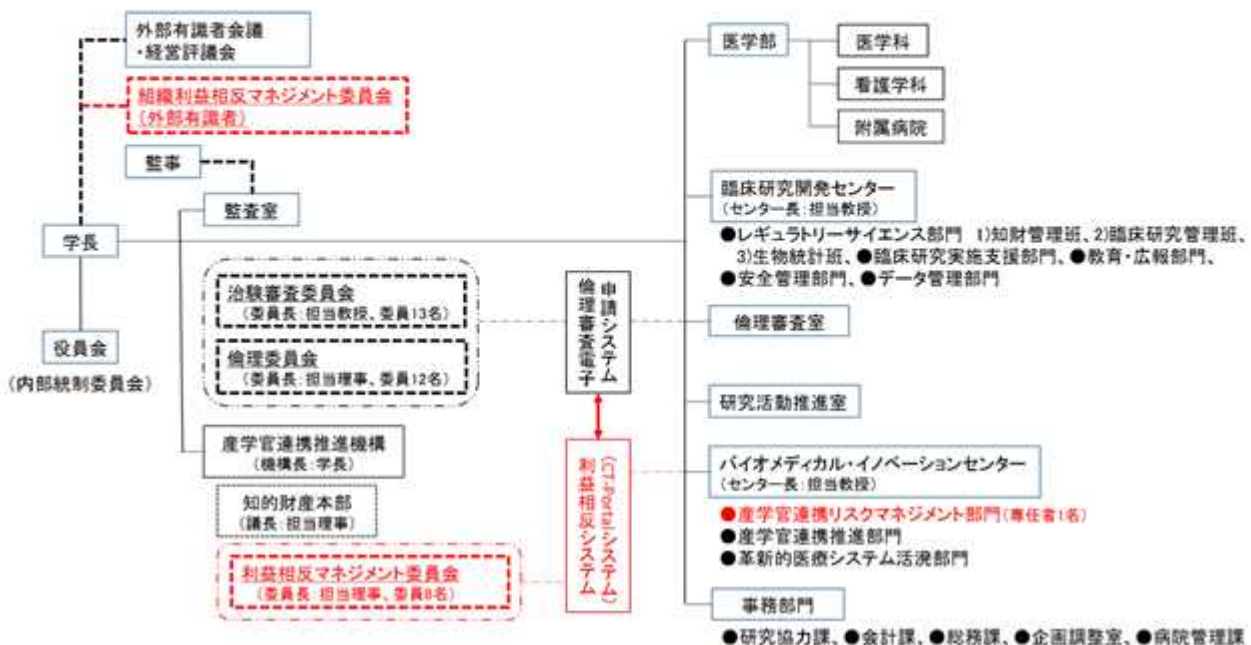
利益相反マネジメント体制の構築に関しては、学長および執行部のリーダーシップの下、組織利益相反マネジメント委員会（外部有識者主体）の設置、および産学官連携リスクマネジメント部門（仮称）を設置し、マネジメントを行う体制を検討した。

利益相反に係る部会、委員会の体制も、産学官連携推進に係る委員会等と担当理事等も分離し、意思決定の独立性を担保する構成に変えた。

利益相反マネジメント体制の変更については、平成28年度からとなるが、平成27年度に次ページの新たな体制の構築の学内執行部とのコンセンサスは得られた。

利益相反マネジメント体制の構築－1

- 平成27年12月1日付で産学官連携リスクマネジメント部門の専任者を配置した。
- 平成27年度に下図の体制について、学内執行部とのコンセンサスを得た。



【応募機関名称：滋賀医科大学】

(2) の組織の利益相反マネジメントポリシーの作成に関しては、平成27年度は大学が実施主体となる出資やベンチャーへの出資、役員の派遣、大学役員の関与等の考慮を行って案を作成した。

利益相反マネジメント体制の構築－2

組織利益相反マネジメントポリシー(案)を作成し、規則・規程の検討を開始した。

<p>平成28年1月31日 国立大学法人滋賀医科大学</p> <p>組織利益相反マネジメントポリシー(案)</p> <p>1. 組織利益相反マネジメントポリシー制定の目的</p> <p>国立大学法人滋賀医科大学(以下本学)は学則第1章(総則)第1条に定めるように、教育基本法(昭和22年法律第30号)、学校教育法(昭和22年法律第26号)及び国立大学法人法(平成15年法律第112号)に基づき、幅広い教養と実学及び国際性のそれぞれの領域に際する高い専門的知識及び技能を授けるときともに、幅広い社会貢献を推進し、有識者に育成するに資する人材を育成することを目的とし、もって教育及び研究の推進、発展に努め、併せて社会の福祉に貢献することを使命とする。</p> <p>本学における医学及び看護学の推進、発展に努め、併せて社会の福祉に貢献することにおいては、本学における研究成果の社会実用を推進することが不可欠であり、そのためには産業界との連携、産業界との企業家との連携の重要性が高まっている。</p> <p>一方産業界、企業家との連携の重要性が高まれば、研究成果の評価においてアカデミアとしての大学の評価とその研究の社会実用者の評価とが必ずしも一致するとは限らず、利益相反が生ずる可能性が高くなる。</p> <p>本学においても教員・研究者等による利益相反に関する利益相反に関する行為については、利益相反ポリシーを制定して取り扱っているが、国立大学法人法の改正、国立大学法人法施行令の改正、大学等における教育に関する研究開発の民間事業者への移転の促進に関する法律の改正、産学連携を推進するための法律の改正、大学法人の法改正、有識者としての企業家、産業界の拡大が図られており、個人だけでなく組織としての利益相反ポリシーの制定が強く求められることとなる。</p> <p>本「組織利益相反マネジメントポリシー」は、以上のように本学の発展、教育の向上に資する組織的な利益相反に対処できるように対応すべく、その方針を大学の責務において明らかにしたものである。</p> <p>2. 組織利益相反の原則と基本的な対応方針</p> <p>組織利益相反とは、</p> <p>1) 大学法人が主体となる直接的利益相反</p> <p>2) 学則、課長、センター等が主体となる間接的利益相反</p>	<p>利益相反事業の必要決定に関する大学法人理事の利益相反</p> <p>は、</p> <p>1) 利益相反の回避、</p> <p>2) 利益相反の承認、</p> <p>3) 利益相反の報告、</p> <p>4) 利益相反の回避、</p> <p>5) 利益相反の承認、</p> <p>6) 利益相反の報告、</p> <p>7) 利益相反の回避、</p> <p>8) 利益相反の承認、</p> <p>9) 利益相反の報告、</p> <p>10) 利益相反の回避、</p> <p>11) 利益相反の承認、</p> <p>12) 利益相反の報告、</p> <p>13) 利益相反の回避、</p> <p>14) 利益相反の承認、</p> <p>15) 利益相反の報告、</p> <p>16) 利益相反の回避、</p> <p>17) 利益相反の承認、</p> <p>18) 利益相反の報告、</p> <p>19) 利益相反の回避、</p> <p>20) 利益相反の承認、</p> <p>21) 利益相反の報告、</p> <p>22) 利益相反の回避、</p> <p>23) 利益相反の承認、</p> <p>24) 利益相反の報告、</p> <p>25) 利益相反の回避、</p> <p>26) 利益相反の承認、</p> <p>27) 利益相反の報告、</p> <p>28) 利益相反の回避、</p> <p>29) 利益相反の承認、</p> <p>30) 利益相反の報告、</p> <p>31) 利益相反の回避、</p> <p>32) 利益相反の承認、</p> <p>33) 利益相反の報告、</p> <p>34) 利益相反の回避、</p> <p>35) 利益相反の承認、</p> <p>36) 利益相反の報告、</p> <p>37) 利益相反の回避、</p> <p>38) 利益相反の承認、</p> <p>39) 利益相反の報告、</p> <p>40) 利益相反の回避、</p> <p>41) 利益相反の承認、</p> <p>42) 利益相反の報告、</p> <p>43) 利益相反の回避、</p> <p>44) 利益相反の承認、</p> <p>45) 利益相反の報告、</p> <p>46) 利益相反の回避、</p> <p>47) 利益相反の承認、</p> <p>48) 利益相反の報告、</p> <p>49) 利益相反の回避、</p> <p>50) 利益相反の承認、</p> <p>51) 利益相反の報告、</p> <p>52) 利益相反の回避、</p> <p>53) 利益相反の承認、</p> <p>54) 利益相反の報告、</p> <p>55) 利益相反の回避、</p> <p>56) 利益相反の承認、</p> <p>57) 利益相反の報告、</p> <p>58) 利益相反の回避、</p> <p>59) 利益相反の承認、</p> <p>60) 利益相反の報告、</p> <p>61) 利益相反の回避、</p> <p>62) 利益相反の承認、</p> <p>63) 利益相反の報告、</p> <p>64) 利益相反の回避、</p> <p>65) 利益相反の承認、</p> <p>66) 利益相反の報告、</p> <p>67) 利益相反の回避、</p> <p>68) 利益相反の承認、</p> <p>69) 利益相反の報告、</p> <p>70) 利益相反の回避、</p> <p>71) 利益相反の承認、</p> <p>72) 利益相反の報告、</p> <p>73) 利益相反の回避、</p> <p>74) 利益相反の承認、</p> <p>75) 利益相反の報告、</p> <p>76) 利益相反の回避、</p> <p>77) 利益相反の承認、</p> <p>78) 利益相反の報告、</p> <p>79) 利益相反の回避、</p> <p>80) 利益相反の承認、</p> <p>81) 利益相反の報告、</p> <p>82) 利益相反の回避、</p> <p>83) 利益相反の承認、</p> <p>84) 利益相反の報告、</p> <p>85) 利益相反の回避、</p> <p>86) 利益相反の承認、</p> <p>87) 利益相反の報告、</p> <p>88) 利益相反の回避、</p> <p>89) 利益相反の承認、</p> <p>90) 利益相反の報告、</p> <p>91) 利益相反の回避、</p> <p>92) 利益相反の承認、</p> <p>93) 利益相反の報告、</p> <p>94) 利益相反の回避、</p> <p>95) 利益相反の承認、</p> <p>96) 利益相反の報告、</p> <p>97) 利益相反の回避、</p> <p>98) 利益相反の承認、</p> <p>99) 利益相反の報告、</p> <p>100) 利益相反の回避、</p>	<p>2) 間接利益相反、組織利益相反を含む場合は、</p> <p>3) 利益相反</p> <p>4) 利益相反の回避、</p> <p>5) 利益相反の承認、</p> <p>6) 利益相反の報告、</p> <p>7) 利益相反の回避、</p> <p>8) 利益相反の承認、</p> <p>9) 利益相反の報告、</p> <p>10) 利益相反の回避、</p> <p>11) 利益相反の承認、</p> <p>12) 利益相反の報告、</p> <p>13) 利益相反の回避、</p> <p>14) 利益相反の承認、</p> <p>15) 利益相反の報告、</p> <p>16) 利益相反の回避、</p> <p>17) 利益相反の承認、</p> <p>18) 利益相反の報告、</p> <p>19) 利益相反の回避、</p> <p>20) 利益相反の承認、</p> <p>21) 利益相反の報告、</p> <p>22) 利益相反の回避、</p> <p>23) 利益相反の承認、</p> <p>24) 利益相反の報告、</p> <p>25) 利益相反の回避、</p> <p>26) 利益相反の承認、</p> <p>27) 利益相反の報告、</p> <p>28) 利益相反の回避、</p> <p>29) 利益相反の承認、</p> <p>30) 利益相反の報告、</p> <p>31) 利益相反の回避、</p> <p>32) 利益相反の承認、</p> <p>33) 利益相反の報告、</p> <p>34) 利益相反の回避、</p> <p>35) 利益相反の承認、</p> <p>36) 利益相反の報告、</p> <p>37) 利益相反の回避、</p> <p>38) 利益相反の承認、</p> <p>39) 利益相反の報告、</p> <p>40) 利益相反の回避、</p> <p>41) 利益相反の承認、</p> <p>42) 利益相反の報告、</p> <p>43) 利益相反の回避、</p> <p>44) 利益相反の承認、</p> <p>45) 利益相反の報告、</p> <p>46) 利益相反の回避、</p> <p>47) 利益相反の承認、</p> <p>48) 利益相反の報告、</p> <p>49) 利益相反の回避、</p> <p>50) 利益相反の承認、</p> <p>51) 利益相反の報告、</p> <p>52) 利益相反の回避、</p> <p>53) 利益相反の承認、</p> <p>54) 利益相反の報告、</p> <p>55) 利益相反の回避、</p> <p>56) 利益相反の承認、</p> <p>57) 利益相反の報告、</p> <p>58) 利益相反の回避、</p> <p>59) 利益相反の承認、</p> <p>60) 利益相反の報告、</p> <p>61) 利益相反の回避、</p> <p>62) 利益相反の承認、</p> <p>63) 利益相反の報告、</p> <p>64) 利益相反の回避、</p> <p>65) 利益相反の承認、</p> <p>66) 利益相反の報告、</p> <p>67) 利益相反の回避、</p> <p>68) 利益相反の承認、</p> <p>69) 利益相反の報告、</p> <p>70) 利益相反の回避、</p> <p>71) 利益相反の承認、</p> <p>72) 利益相反の報告、</p> <p>73) 利益相反の回避、</p> <p>74) 利益相反の承認、</p> <p>75) 利益相反の報告、</p> <p>76) 利益相反の回避、</p> <p>77) 利益相反の承認、</p> <p>78) 利益相反の報告、</p> <p>79) 利益相反の回避、</p> <p>80) 利益相反の承認、</p> <p>81) 利益相反の報告、</p> <p>82) 利益相反の回避、</p> <p>83) 利益相反の承認、</p> <p>84) 利益相反の報告、</p> <p>85) 利益相反の回避、</p> <p>86) 利益相反の承認、</p> <p>87) 利益相反の報告、</p> <p>88) 利益相反の回避、</p> <p>89) 利益相反の承認、</p> <p>90) 利益相反の報告、</p> <p>91) 利益相反の回避、</p> <p>92) 利益相反の承認、</p> <p>93) 利益相反の報告、</p> <p>94) 利益相反の回避、</p> <p>95) 利益相反の承認、</p> <p>96) 利益相反の報告、</p> <p>97) 利益相反の回避、</p> <p>98) 利益相反の承認、</p> <p>99) 利益相反の報告、</p> <p>100) 利益相反の回避、</p>
--	---	--

この「組織の利益相反マネジメントポリシー」は成果物の項に詳細を添付する。

(3) CT-Portalシステムの改善・最適化に関しては、平成27年度の事業計画の大半を占める最重要の課題である。

CT-Portalシステムは、ファーマメディカルソリューション社が開発した人を対象とした臨床試験 (Clinical research) および臨床治験 (Clinical trials) の支援システムで、予め登録しておいた情報 (研究基本情報や過去の登録した申請情報) を利用して、新しい申請情報を登録、必要な申請書類を作成することができ、治験審査委員会 (IRB) を迅速かつ効率的に運用することを目的としたシステムである。このシステムに利益相反 (COI) に関する情報 (共同研究、受託研究、産学連携、寄附金、研究助成金等の外部資金や契約情報、兼業で生じる講演料、指導料等の副収入、あるいは企業の株式保有等による収入) を付加し、COIの審査も含めてトータルで行えるシステム構築を行った。

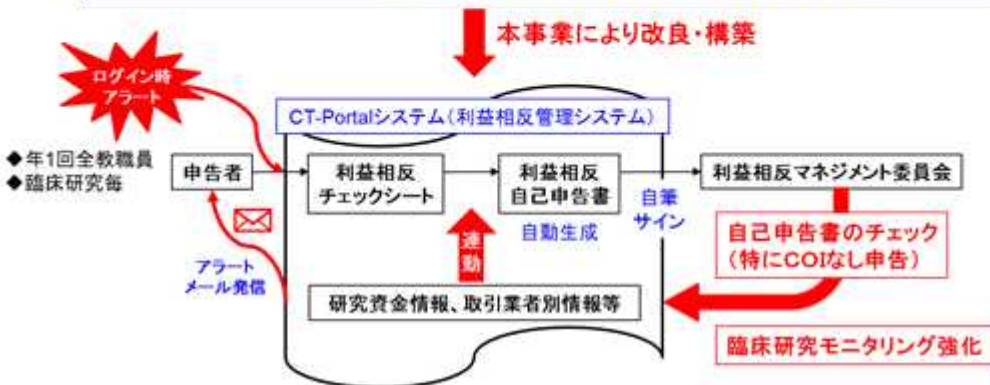
その目的は単にシステム化して簡易に判断することが目的ではなく、医学系単科大学の場合、総合大学と比較して IRB や COI の専任人材を確保することが困難であり、倫理審査や利益相反審査の件数が増加すると審査業務が破綻するか、審査の停滞を招きかねないため、総合大学以上に審査業務の効率化を進める必要があるためである。産学官連携をより推進するために、COIの申告件数が増えても審査の質を保持するために重要な課題であった。採択条件にもあるように他の医学系単科大学にも展開できるシステムとして留意し、開発を行った。

CT-Portalサーバを利用した利益相反管理システム(CT-Portalシステム)



利益相反の自己申告は従来においては年度処理であったため、年度途中の経時的な変化（講演料や指導料の累積等）で、申告すべきガイドラインを超えてしまっても、申告者本人も気付かず、また管理者も把握できないといった事態が生じていた。そのためできる限りリアルタイムに近い状況で把握できるように、インプットされたデータに基づき、ガイドラインに達する可能性があれば申告者と管理者にアラームを出す機能を加えた。

利益相反管理システムの改良・構築-1



【応募機関名称：滋賀医科大学】

また自己申告においてもチェックシート機能を強化し、申告者がより簡便に申告ができ、申告漏れを防ぐ仕組みの導入を行った。

利益相反は多くは申告を適切に行っていれば問題が無いケースが多いため、利益相反事案が発生したときに速やかに申告を行い、大学がそれを把握し、申告した研究者を積極的に保護・保証するという仕組みにしなければならない。そして、研究者自身に講演謝金や兼業収入等の金額がガイドラインに達しそうな時には早めにアラートを発出して、申告を促す仕組みとして構築を行った。

さらに管理者側からは、企業別集計や、講座別の集計を可視化することが可能となること、研究資金情報や兼業データの入力を直接入力やcsv形式で入力することが可能となること等、申告者の側からも、管理者の側からも使いやすいシステムの構築に注力した設計となっている。

利益相反管理システムの改良・構築－2

アラート機能



研究資金情報の直接入力とCVS入力



企業別集計・可視化機能



集計・検索機能



本事業で開発したCT-Portal COIマネジメントシステムの詳細は、成果物の項に添付する。

(4)については、本学研究協力課に所属するコーディネーターの方々の応援を仰ぎ、国内及び海外の利益相反事例の収集と分析に着手した。この事例をCT-portalの事例データベースに組み込み、どのような場合に利益相反が問題になるのか検証を行っていく。

また、研究者に向けての意識啓発の事例、具体的な参考事例として活用されるよう、整備を行っていく。

平成27年度に収集した事例を成果の項に添付する。

6. まとめ及び平成28年度の展開

平成27年度実施事業のCT-portalへの利益相反マネジメントシステムの構築は達成されたが、本文部科学省委託事業「産学官連携リスクマネジメントモデル事業（利益相反）」は平成28年2月8日の進捗評価にて、平成27年度での終了が決定した。平成28年度からは東京医科歯科大学の協力機位的位置付で事業を継続する（外部委員会での参加、および成果普及の先行実施機関としての役割を担う）とともに、滋賀医科大学において予算を学長裁量経費から組み、自主事業として継続することとした。

滋賀医科大学は過去にディオバン問題で利益相反に係る問題を経験しており、自主事業としても着実に計画を実施、達成していく必要があるためである。

本委託事業での経験、反省を生かし、他の医学系単科大学のモデルとなる利益相反マネジメントシステムの構築を目指すものである。

平成28年度実施計画

①利益相反マネジメント体制の構築

- 組織利益相反ポリシーの下、組織利益相反委員会を設置し、規則・規程を整備する。
- 平成27年度に検討を行った「組織利益相反マネジメントポリシー」をベースに、「組織利益相反委員会」の設置を行う。
- 組織利益相反委員会の運用を開始し、検討事例の蓄積を行う

②利益相反管理システムの改良・構築

- 過去の利益相反事例等を踏まえ、シミュレーションを行って、システムの妥当性（利益相反状態の把握、アラームの有効性、経時的集計の有効性等）の検証を行う。
- 他大学とも情報交換を行い、システムのさらなる改良と普及促進を行う。

③利益相反に関する事例の収集・解析とデータベース化

- 事例収集・分析結果のデータベース化を進め、事例の蓄積を図るとともに、社会や他大学に向けての情報公開の方策を検討する。
- 人材育成や類似事例参照のために、データベースの利用マニュアルの作成に着手する。

④東京医科歯科大学との連携による利益相反マネジメントの高度化

- 東京医科歯科大学の外部委員会、タスクフォースに参加し、利益相反マネジメントの高度化の検討を行う

⑤産学官連携リスクマネジメント事業の成果普及先行実施

- 文部科学省産学官連携リスクマネジメント事業の成果普及先行実施機関として、規則、自己申告、委員向け教材等の先行実施を行う

以上

CT-Portalの使用方法

電子申請システムの概要

- 倫理委員会への申請ができます
新規申請が全面的に移行するのは
2016年4月からです。
- 実施中の試験情報の管理ができます
- 外部資金の受入状況を確認できます
(寄付金・受託/共同研究費・講師謝金 等)
2016年2月より順次データが掲載されます。

ログイン

The screenshot shows a login form titled "Log In" with the following fields and callouts:

- ログインID**: Contains "●●●●@belle.shiga-med.ac.jp". A callout box explains: "メールアドレス※ (@belle.shiga-med.ac.jp を含む)".
- パスワード**: Contains ".....". A callout box explains: "初期パスワード (代表アカウント) sumshq1234 (個人アカウント) sums1234".
- サービスコード**: Contains "shiga-rinsho". A callout box explains: "shiga-rinsho".

Below the fields, there is a checkbox for "次回から自動ログイン" and a link "パスワードを忘れた方はこちらから". At the bottom, there are two buttons: "ログイン" (circled in red) and "新規登録".

※メールアドレスを取得していない、もしくは最近取得された方のログインIDは個人IDになります。

教職員検索システムTrunkよりご確認ください。

<http://trunkweb.shiga-med.ac.jp/all/search/genin>(まるっと内)

パスワード変更



右上のメニューより、「個人設定」を選び、任意のPWを入れてください。
確認用も入力して、保存をクリックします。

No	421	ユーザーID	sinseisha	
パスワード ※必須	<input type="password" value="....."/>	パスワード(確認) ※必須	<input type="password" value="....."/>	
氏名	テスト申請者	氏名(カナ)	テストシンセイシャ	
メールアドレス	<input type="text" value="ueda0te@belle.shiga-med.ac.jp"/>	メールアドレス(確認)	<input type="text" value="ueda0te@belle.shiga-med.ac.jp"/>	
所属	<input type="text" value="(選択してください)"/>	診療科/部署	<input type="text" value="(選択してください)"/>	職名 <input type="text" value="(選択してください)"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX	<input type="text"/>	

パスワードをお忘れの方は、倫理審査室までご連絡ください。

また、ユーザーIDの変更を希望される方も、倫理審査室までご連絡ください。
(メールアドレスを取得された場合等)

試験情報一覧



- 試験情報検索
各種条件で検索ができます
申請者のお名前でも検索ができるようになる予定です
- 試験情報一覧
課題略称をクリック → 試験の情報が表示されます
申請ボタンをクリック → 下記の申請が実施できます

変更申請：研究者・研究期間・予定例数・その他の変更(随時)

継続申請：1年に1度実施状況の報告をしてください

2014年度までに承認された試験は、毎年年度末

2015年度以降承認された試験は、翌年の申請月(ご依頼します)

終了報告：試験の終了・中止・中断について報告してください(随時)

✓	整理番号	試験区分	課題略称	実施診療科	責任医師名	依頼者名	安全性	実施予定期間	委員会承認日	ステータス	審査登録
✓	test01	臨床研究	<u>test01研究</u>	事務部	鈴木 太郎				2014年12月1日	実施中	申請

試験情報

画面右側の上下にある、試験情報変更ボタンから変更できます。

試験情報変更

詳細情報

分担者・協力者

依頼者情報

実施状況申請依頼履歴

参照メンバー

通知先

詳細情報の「実施診療科・責任医師名」をご確認ください。

実施診療科・責任医師・CRC等			
実施診療科	診療科： <input type="text" value="事務部"/>	診療科： <input type="text" value="(選択してください)"/>	診療科： <input type="text" value="(選択してください)"/>
	責任者名： <input type="text"/>	責任者名： <input type="text"/>	責任者名： <input type="text"/>
責任医師	氏名： <input type="text" value="鈴木 太郎"/>	診療科： <input type="text" value="事務部"/>	
	所属： <input type="text" value="保健管理センター"/>	職名： <input type="text" value="(選択してください)"/>	

現在は、責任医師名欄に「申請者」が記載されています。
申請書中の「主任研究者」へ変更をお願いいたします。

試験情報

「参照メンバー」より、この試験にアクセスできる方を設定できます。

詳細情報	分担者・協力者	依頼者情報	実施状況申請依頼履歴	参照メンバー	通知先
参照メンバー変更					
No	氏名	メールアドレス / ユーザID	メンバータイプ	追加日	
1	テスト申請者	sinseisha	オーナー	2015年12月17日	

追加したい方のメールアドレス(ユーザーIDにしているもの) メンバータイプを入力
※現在は、代表アドレスのみがオーナーになっています。

No	メールアドレス / ユーザID	メンバータイプ	氏名	追加日	削除
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="sinseisha"/>	<input type="text" value="オーナー"/>	テスト申請者	2015年12月17日	<input type="button" value="削除"/>
<input type="text" value="2"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>			<input type="button" value="削除"/>
<input type="text" value="3"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>			<input type="button" value="削除"/>

オーナー: 試験情報の変更・申請ができます
メンバー: 試験情報の閲覧・申請ができます

変更・継続・終了申請



試験情報一覧から、「申請」をクリック

✓	整理番号	試験区分	課題略称	実施診療科	責任医師名	依頼者名	安全性	実施予定期間	委員会承認日	ステータス	審査登録
✓	test01	臨床研究	test01研究	事務部	鈴木 太郎				2014年12月1日	実施中	申請

申請登録(申請種別の選択)

委員会	倫理審査委員会 ▼
申請タイプ	<input checked="" type="radio"/> 変更 <input type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 終了
申請書タイプ	臨床研究 変更用 ▼

申請したい種類を選んで「登録」をクリック

表示された項目に、順次入力をしてください。複数ページあります！

[基本情報](#) [詳細情報登録\(1\)](#) [詳細情報登録\(2\)](#) [申請添付資料登録](#) [申請書作成](#) [確認画面](#)

保存せず申請情報一覧へ

保存して申請情報一覧へ

保存

保存して前のページへ

保存して次のページへ

申請書の作成・添付→提出

入力ができたら、最後から2番目のページで作成・添付します。
PDFボタンを押すと自動で作成されますので、自動添付を選んでください。

申請情報 (終了) 申請書作成 5 ページ (全 6 ページ)		
申請書等を作成します		
申請書		
書式選択	申請書名 / 参照URL	
研究終了 (中止・中断) 報告書	<input type="text"/>	<input type="button" value="PDF"/> <input type="button" value="Word"/>
	添付済みファイル: 研究終了 (中止・中断) 報告書.pdf	

最後のページは確認画面です。よろしければ一番下の「事務局へ提出」をクリックしてください。

[基本情報](#) [詳細情報登録\(1\)](#) [詳細情報登録\(2\)](#) [申請添付資料登録](#) [申請書作成](#) [確認画面](#)

保存せず申請情報一覧へ

保存して申請情報一覧へ

事務局へ提出

申請情報一覧



これまでに実施した申請情報が表示されます。
作りかけのものもここに表示されます。

整理番号	申請タイプ	課題略称	診療科	責任医師	レビュー	申請状況	最新のコメント	委員会名	審査結果
test01	終了	test01研究	事務部	鈴木 太郎	未査読	申請作成中			
test01	終了	test01研究	事務部	鈴木 太郎	未査読	申請作成中			

続きを作成したい試験等を選び、下に表示されるボタンから、操作を選んでください。



事務局へ提出後は、編集などができなくなります。
修正等をご希望の際は、倫理審査室までご連絡ください。

新規申請（4月以降）

申請情報画面に表示される「申請登録」ボタンより申請いただきます。



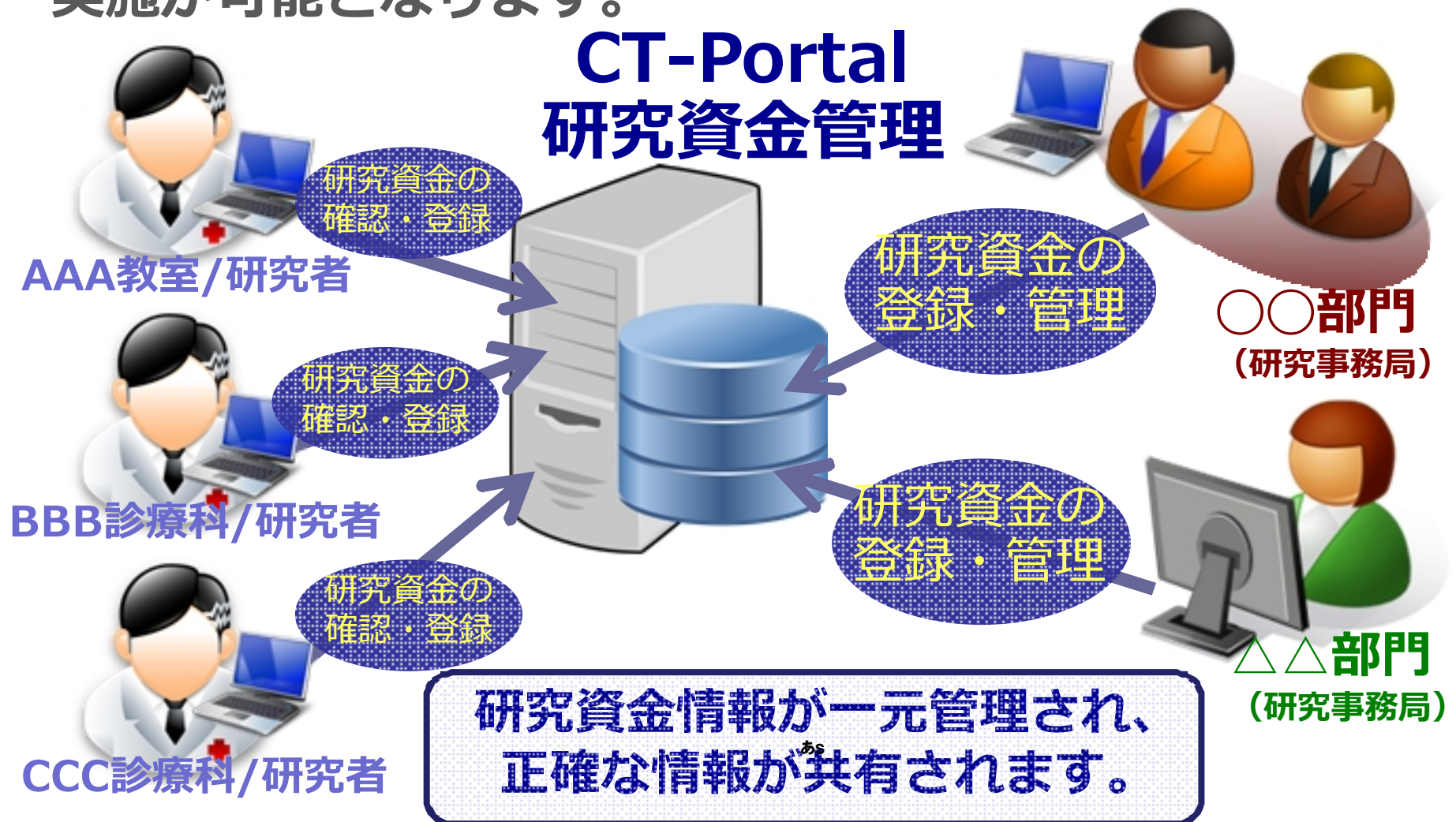
プロトコール・同意説明文書・COI自己申告書等の添付が必要です。

各資料の修正履歴を除いた、PDFファイルを添付してください。

PDFの作成が困難な場合は、紙媒体でのご提出も受け付けます。

研究資金管理機能の概要

研究事務局、研究者が同一のシステム上で研究資金の管理を行うことで、徹底した利益相反マネジメントの実施が可能となります。



研究資金管理機能の主要機能

研究資金の管理に必要な機能がすべて揃っています。

① 研究資金情報の一元管理

複数の部門で個別管理されている研究資金情報を統一した画面で管理（リアルタイムで閲覧）することができます。

③ 研究資金情報の集計

研究資金を企業単位、診療科（医局）単位に集計結果を確認できる他、資金受け入れ状況をグラフで経時的に確認することができます。

⑤ 研究資金情報の外部出力

システムに登録されている研究資金情報をCSVファイルに出力することができます。

② 研究者による研究資金管理

研究者自らが自己が関わる研究の資金情報を確認することが可能な他、自ら研究資金情報を登録することができます。

④ 研究資金情報の一括登録

Excelファイル等で管理されている研究資金情報をシステムに一括登録することができます。



【主要機能】 研究資金情報の登録（2）

研究資金の種類毎に（受託研究、寄付金、講師謝金、その他）専用の入力画面が用意されています。



The screenshot shows a web browser window displaying the CT-Portal registration page. The URL is https://rx.ct-portal.com/cols/regist. The page title is "研究資金登録（受託研究等）". The form includes the following fields and options:

- 研究代表者 ※必須: 氏名 [入力], 役職 [入力], 所属部署 [入力], 診療科 [入力], 研究責任者 , クリア
- 分類 ※必須: 大分類: 受託研究等, 小分類 [選択], カテゴリ [選択], 受入部署 [選択]
- 識別番号 ※必須: [識別番号を入力]
- プロジェクトNo.: [プロジェクトNo.を入力]
- 競争資金: 競争資金に該当する
- 事業化: [事業化を入力]
- 研究課題名: [研究課題名を入力]
- 依頼者（企業名等） ※必須: 区分 [選択], 企業名 [入力], [企業名がその他の場合にのみ入力]
- 依頼者（担当者）: 氏名 [氏名を入力], 会社/部署名等 [会社/部署名等を入力]
- 契約締結日: [日]年 [月] [日]
- 契約期間 ※必須: [日]年 [月] [日] - [日]年 [月] [日] ※1日の場合は同じ日を開始日と終了日に入力
- 受入金額（予定） ※必須: 金額 [金額ボタンから金額を入力] 円
- 備考: [備考を入力]
- データの保存: ※編集を完了する場合はチェックを入れてください。データを決定すると編集できなくなります。

Buttons at the bottom: 保存, キャンセル

研究資金の種類毎に専用の登録画面が用意されており、必要な管理情報をもれなく登録することができます。

【主要機能】 研究資金情報の検索

研究事務局は、複数の検索条件を組み合わせることにより、検索対象となる研究資金情報を抽出することができます。

The screenshot displays the CT-Portal search interface for research funds. The search form includes the following fields:

- 年度: 2014 年 12 月 ~ 2015 年 12 月
- 研究代表者: (研究代表者 部分一致)
- 研究番号: (研究番号 部分一致) 金額: 以上 ~ 以下 企業名: (企業名 部分一致)
- 分類: 大分類 小分類 カテゴリー 受入形態

Buttons for "検索" (Search) and "クリア" (Clear) are visible below the form.

The results table below shows a list of research funds with the following columns:

研究番号	大分類	小分類	事業名	研究種別名	研究代表者	企業名	金額	契約期間	更新日
A15-KJ00018	講評審査	コンサルティング等業務委託費	〇〇〇事業推進	△△△プログラム	申請 太郎 (徳島県内科 講師)	旭化成ファーマ株式会社	30,888円 30,888円(2015年07月01日)	2014年04月01日~ 2015年03月31日	2015年09月18日
A15-KJ00019	講評審査	講評審査	〇〇〇事業推進	△△△プログラム	申請 太郎 (徳島県内科 講師)	旭化成ファーマ株式会社	123,552円 123,552円(2015年08月01日)	2014年04月01日~ 2015年03月31日	2015年09月18日
A15-KJ00020	講評審査	原形執筆料・監修料等	〇〇〇事業推進	△△△プログラム	申請 太郎 (徳島県内科 講師)	アストラス製薬株式会社	463,320円 463,320円(2015年09月01日)	2014年04月01日~ 2015年03月31日	2015年09月18日
A15-KJ00021	講評審査	コンサルティング等業務委託費	〇〇〇事業推進	△△△プログラム	山田 太郎 (整形外科)	アストラス製薬株式会社	154,440円 154,440円(2015年08月01日)	2013年04月01日~ 2015年03月31日	2015年09月18日
A15-KJ00022	講評審査	講評審査	〇〇〇事業推進	△△△プログラム	山田 太郎 (整形外科)	アストラス製薬株式会社	463,320円 463,320円(2015年09月01日)	2013年04月01日~ 2015年03月31日	2015年09月18日
A15-KJ00023	講評審査	原形執筆料・監修料等	〇〇〇事業推進	△△△プログラム	山田 太郎 (整形外科)	アストラス製薬株式会社	926,640円 926,640円(2014年04月01日)	2013年04月01日~ 2015年03月31日	2015年09月18日

【主要機能】 研究資金情報検索

研究資金の種類に合ったビュー（一覧）が用意されている他、横断的に研究資金情報を一覧表示することができます。

The main interface shows a table with columns: 識別番号, 大分類, 小分類, 寄附金名称, 研究代表者, 企業名, 金額, and 更新日. A dropdown menu is open, showing options: 受託研究ビュー, 寄付金ビュー (selected), 講師謝金ビュー, その他の費用ビュー, and 共通ビュー. An orange box highlights the '表示切り替え 寄付金ビュー' dropdown. An orange arrow points from this box to a text box that says '研究資金の種類毎に専用のビューが用意されています。' Below the main table are four thumbnails representing different views: 受託研究用ビュー, 寄付金用ビュー, 講師謝金用ビュー, and その他用ビュー.

識別番号	大分類	小分類	寄附金名称	研究代表者	企業名	金額	更新日
A15-UE00022	その他の費用	立食パーティー			製菓	463,320円(2014)	2015年09月18日
A15-UE00023	その他の費用	接待(旅行等)			製菓		2015年09月18日
A15-UE00024	その他の費用	物品の受領			製菓		
A15-UE00025	その他の費用	その他の利益供与			製菓		
A15-UE00026	その他の費用	会食			株式会社	926,640円(2015年01月01日)	2015年09月18日

表示切り替え 寄付金ビュー

研究資金の種類毎に専用のビューが用意されています。

受託研究用ビュー 寄付金用ビュー 講師謝金用ビュー その他用ビュー

【主要機能】 研究資金情報のCSV出力

検索で抽出したデータをCSVデータとして出力することができます。



The screenshot shows the CT-Portal search results page. At the top, there are search filters for '研究費種別' (Research Fee Type) and '研究費種別' (Research Fee Type). Below the filters, there is a table titled '研究費一覧' (Research Fee List) with columns for '研究費番号' (Research Fee No.), '研究費種別' (Research Fee Type), '研究費内容' (Research Fee Content), '研究費金額' (Research Fee Amount), '研究費年度' (Research Fee Year), and '研究費所属' (Research Fee Affiliation). The table contains several rows of data, including research fee numbers like '613-A-00018' and '613-A-00019', and amounts like '000000000' and '666670996'.

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following columns: '研究費番号' (Research Fee No.), '大分類' (Major Classification), '小分類' (Minor Classification), '研究費名称' (Research Fee Name), '研究費内容' (Research Fee Content), '企業名' (Company Name), '金額' (Amount), and '更新日' (Update Date). The spreadsheet contains multiple rows of data, including research fee numbers like '1', '13121', '13102', and 'A19-U00008', and amounts like '60000000', '100000', and '200000'.

Excelにダウンロード を押すと、
CSVファイルとして表示されます。

【主要機能】 診療科別資金集計

診療科単位に研究資金を集計します。集計結果は、経時的なグラフ表示およびその内訳の閲覧が可能です。

診療科別研究資金集計

年度: 2014 (12月) ~ 2015 (12月)

年度: 年度

検索 クリア



診療科別研究資金一覧 (集計)

更新日時: 2015-12-08 08:00:02

記入部署	研究助成金 (金額/件数)	研究助成金 (金額/件数)	研究助成金 (金額/件数)	その他の助成 (金額/件数)	合計 (金額/件数)	グラフ表示 (診療科別)
産科婦人科	13,741,593円 (142件)	0円 (0件)	12,659,024円 (140件)	16,347,716円 (140件)	42,748,333円 (142件)	
整形外科	1,189,188円 (18件)	0円 (0件)	617,790円 (20件)	2,626,708円 (20件)	4,433,686円 (38件)	
脳神経外科	2,091,358円 (18件)	0円 (0件)	6,201,447円 (18件)	2,363,526円 (18件)	10,656,331円 (36件)	
小児科	6,238,791円 (23件)	0円 (0件)	1,567,967円 (26件)	0円 (0件)	7,806,758円 (49件)	

研究助成金 (内訳)

研究助成金	申請者	研究内容	研究費	研究費	研究費	研究費	研究費	研究費	研究費	研究費
0001	研究助成金	研究助成金			研究助成金	研究費	46,000,000円	2014年12月1日~2015年12月31日	2015年12月31日	
1111	研究助成金	研究助成金	研究助成金	研究助成金	研究助成金	研究費	200,000円	2014年09月01日~2014年09月30日	2014年09月30日	
A11-000001	研究助成金	研究助成金	0000研究助成金	A11-7073A	中国 太郎	研究助成金	101,000円	2014年04月01日~2014年03月31日	2014年03月31日	
A11-000002	研究助成金	研究助成金	0000研究助成金	A11-7073A	中国 太郎	研究助成金	67,000円	2014年04月01日~2014年03月31日	2014年03月31日	
A11-000003	研究助成金	研究助成金	0000研究助成金	A11-7073A	中国 太郎	研究助成金	112,000円	2014年04月01日~2014年03月31日	2014年03月31日	
A11-000004	研究助成金	研究助成金	0000研究助成金	A11-7073A	中国 太郎	研究助成金	11,000円	2014年04月01日~2014年03月31日	2014年03月31日	
A11-000005	研究助成金	研究助成金	0000研究助成金	A11-7073A	中国 太郎	研究助成金	11,000円	2014年04月01日~2014年03月31日	2014年03月31日	
A11-000006	研究助成金	研究助成金	0000研究助成金	A11-7073A	中国 太郎	研究助成金	100,000円	2014年04月01日~2014年03月31日	2014年03月31日	

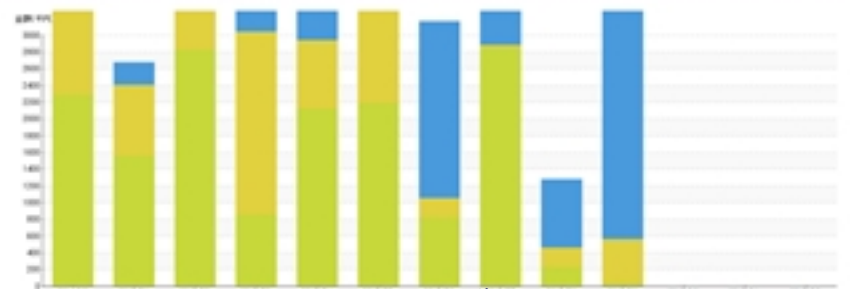
集計結果の内訳

研究資金グラフ表示 (産科婦人科)

年度: 2014 (12月) ~ 2015 (12月)

年度: 年度

検索 クリア



経時的なグラフ表示

【主要機能】 企業別資金集計

企業単位に研究資金を集計します。集計結果は、経時的なグラフ表示およびその内訳の閲覧が可能です。

企業別研究資金検索

年度: 2014年 12月1日 - 2015年 12月31日

年度: 1年度

記入部番: []

検索 クリア



企業別研究資金一覧 (集計) 更新日時: 2015-12-04 08:00:01

企業名	研究費内訳 (金額/件数)	業務費 (金額/件数)	諸経費 (金額/件数)	その他 (金額/件数)	合計 (金額/件数)	グラフ表示 (企業別)
武田薬品工業株式会社	0円 (17件)	50,000円 (10件)	166,480円 (12件)	0円 (12件)	216,480円 (42件)	
アズワン工業株式会社	13,741,533円 (136件)	0円 (0件)	1,081,080円 (12件)	308,880円 (12件)	17,131,533円 (160件)	
フレイズ株式会社	3,838,619円 (17件)	0円 (0件)	0円 (0件)	0円 (0件)	3,838,619円 (17件)	
株式会社アーテック	0円 (0件)	0円 (0件)	12,027,224円 (126件)	16,347,736円 (126件)	28,374,960円 (252件)	

研究費内訳 (内訳)

研究費内訳	研究費内訳	研究費内訳	研究費内訳	研究費内訳	研究費内訳	研究費内訳	研究費内訳	研究費内訳	研究費内訳
A15-100000	研究費内訳	研究費内訳	0000業務費	AAA700736	年度: 1年度	アズワン工業株式会社	3,838,619円 (17件)	2014年04月01日 - 2015年03月31日	2015年04月01日 - 2015年03月31日
A15-100010	研究費内訳	研究費内訳	0000業務費	AAA700736	年度: 1年度	アズワン工業株式会社	3,838,619円 (17件)	2014年04月01日 - 2015年03月31日	2015年04月01日 - 2015年03月31日
A15-100011	研究費内訳	研究費内訳	0000業務費	AAA700736	年度: 1年度	アズワン工業株式会社	3,838,619円 (17件)	2014年04月01日 - 2015年03月31日	2015年04月01日 - 2015年03月31日
A15-100012	研究費内訳	研究費内訳	0000業務費	AAA700736	年度: 1年度	アズワン工業株式会社	3,838,619円 (17件)	2014年04月01日 - 2015年03月31日	2015年04月01日 - 2015年03月31日
A15-100013	研究費内訳	研究費内訳	0000業務費	AAA700736	年度: 1年度	アズワン工業株式会社	3,838,619円 (17件)	2014年04月01日 - 2015年03月31日	2015年04月01日 - 2015年03月31日
A15-100014	研究費内訳	研究費内訳	0000業務費	AAA700736	年度: 1年度	アズワン工業株式会社	3,838,619円 (17件)	2014年04月01日 - 2015年03月31日	2015年04月01日 - 2015年03月31日
A15-100015	研究費内訳	研究費内訳	0000業務費	AAA700736	年度: 1年度	アズワン工業株式会社	3,838,619円 (17件)	2014年04月01日 - 2015年03月31日	2015年04月01日 - 2015年03月31日

集計結果の内訳

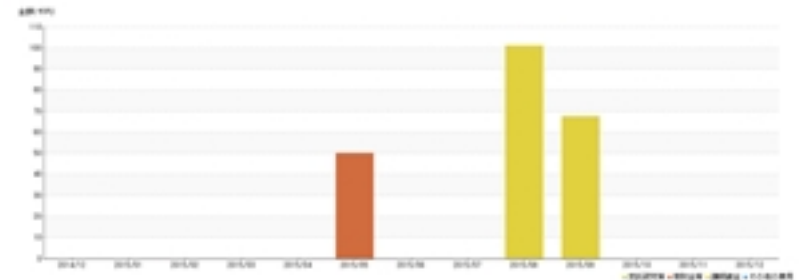
研究費内訳グラフ表示 (武田薬品工業株式会社)

年度: 2014年 12月1日 - 2015年 12月31日

年度: 1年度

記入部番: []

検索 クリア



経時的なグラフ表示

様式第 2 1

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目 「産学官連携リスクマネジメントモデル事業（利益相反マネジメント）」

機関名：国立大学法人滋賀医科大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
「産学官リスクマネジメントモデル事業（利益相反マネジメント）の取り組み」（口頭発表）	松浦 昌宏, 江田 和生, 遠山 育夫	産学連携学会 関西・中四国支部 第7回 研究・事例発表会（高知工科大学）	平成27年12月10日	国内
「産学官連携リスクマネジメント事業（利益相反マネジメント）」（口頭発表）	小笠原 敦, 松浦 昌宏	医学系大学産学連携ネットワーク協議会	平成28年2月15日	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
なし				

(注1) 発表者氏名は、連名による発表の場合には、筆頭者を先頭にして全員を記載すること。

(注2) 本様式はexcel形式にて作成し、甲が求める場合は別途電子データを納入すること。

H27年度

第2回

コンプライアンス教育

研究倫理教育研修会

—医学系大学における利益相反マネジメント—

日時 平成28年3月18日(金)
17時30分～19時00分

場所 臨床講義室3

対象者 研究者（学生を含む）
技術職員、事務職員（非常勤を含む）

内容 医学研究COIマネジメントの現状
医系大学・研究機関における組織としてのCOIマネジメント

講師 飯田 香緒里氏
(東京医科歯科大学 産学連携研究センター長)

■ ■ ■ ご案内

本研修は、人を対象とする医学系研究に関わる研究者の認定制度の対象講習となっています。

本学において研究活動を行うすべての研究者、その他広く研究活動に関わる者を対象とします。（共同研究等を行う学外研究者の受講を認めます。）

職員の方は、職員証をお持ちください。

H27年度

第3回

コンプライアンス教育

研究倫理教育研修会

—産学官連携活動におけるリスクマネジメント—

日時 平成28年3月24日(木)
17時30分～19時00分

場所 臨床講義室1

対象者 研究者（学生を含む）
技術職員、事務職員（非常勤を含む）

内容 営業秘密管理、安全保障貿易管理、COIマネジメント等
(国際学会誌への投稿、外国人研究者の受入れ、研究室の
データ管理、国際共同研究など産学官連携による研究活
動上の注意事項について)

講師 河合 孝尚氏
(長崎大学 研究国際部 コーディネーター)

■■■ご案内

本研修は、人を対象とする医学系研究に関わる研究者の認定制度の対象講習
となっています。

本学において研究活動を行うすべての研究者、その他広く研究活動に関わる
者を対象とします。(共同研究等を行う学外研究者の受講を認めます。)

職員の方は、職員証をお持ちください。



国立大学法人

滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

■お問い合わせ先
研究協力課

☎077-548-3579